

区 分	薬 剤 名	処理法	処理時期	使 用 量	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
大 麦 (つづき)	HOK-15 水和 (つづき)	処理	期 〔スズメノ テッポウ 1.5 L ま で〕	〔但し、暖地〕 は20		〔但し、四 国を除く。 寒地～温 暖地東部 (畑作) 温暖地以 西(水田 裏作)〕	土を丁寧に行なっ て均一散布に留意 する。 2) 対象：二条大麦、 六条大麦。
水稲刈跡	MHS-25 液	茎葉処理	水稲刈取後 10～15日 (再生後)か ら塊茎形成 前まで	l/a <u>2.0～2.5</u> (原液散布)	全 土 壤	温暖地の早 期栽培	1) 茎葉によく付着 するように散布す る。 2) 対象雑草：ミズ ガヤツリ。
	グリホサート液	茎葉処理	水稲刈取後 10～15日 (再生後)か ら塊茎形成 盛期まで(10 月中旬頃)	ml/a 50～100 〔100～50倍 液を5 l/a 散布〕	全 土 壤	温暖地東部 ・暖地の早 期栽培	1) 茎葉によく付着 するように散布す る。 2) 対象雑草：ミズ ガヤツリ。
			水稲刈取後 セリ生育期	33～50 〔150～100 倍液を5 l/a 散布〕		温 暖 地	1) 茎葉によく付着 するように散布す る。 2) 対象雑草：セリ

注) ① アンダーライン(実線)は、本年度拡大または追加された部分である。なお、薬剤名のアンダーラインは、本年度はじめて使用基準の作成されたものである。

② アンダーライン(点線)は、その一部が拡大されたものである。

編 集 後 記

植 調 協 会 だ よ り

深山一面紅葉し、秋も終りを告げると、雑草の種子は地に下りて休眠…来春に夢を託して。

◎ 会議開催日程のお知らせ

- ・昭和58年度桑園関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会

日時：昭和58年12月8日(木) 10～17時

場所：植調会館3階会議室

- ・昭和58年度水稲畑作関係除草剤・生育調節剤試験成績中央検討会

日時：昭和58年12月12日(月)～16日(金)

場所：協和銀行秋葉原支店4階会議室・植調会館3階会議室

財団法人 日本植物調節剤研究協会

東京都台東区台東1丁目26番6号

電話 東京(03)832-4188(代)

昭和58年11月発行

植調第17巻第8号

¥300(送料170)

編集人 日本植物調節剤研究協会専務理事 吉沢長人

発行人 植調編集印刷事務所 広田伸七

東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会

発行所 植調編集印刷事務所

電話 東京(03)833-1821番(代)